

## 第28回技能グランプリ開催！（2月20日～23日）

メイン会場は幕張メッセ 壁装30名、表具12名が出場

第28回技能グランプリが、2月20日から23日までの4日間にわたって開催された。

競技が行なわれたのは28職種で、そのうち24職種は幕張メッセの9・10ホールを会場にして行なわれた。内装仕上げ関係では、壁装と表具が9ホールで、プラスチック系床仕上げとカーペット系床仕上げが10ホールで行われた。

各職種とも出場選手は一心不乱、真剣に制作に取り組んでいた。広い建物内で大勢の選手と見学者が集まり、かつ作業のさまざまな音が響くにも関わらず、会場には緊張した空気が充満していた。

### 壁装職種

壁装は北海道から九州までの各都道府県より30名の選手が参加していた。

技能検定試験のときのパネルと似た試験体の下張り、下地調整、各種壁紙の意匠張り等が行われていた。

次第に仕上がってくるにつれ、各選手とも高度の技能をもつベテランばかりであるため、素人目には、一体どうやって甲乙を付けるのだろうか心配になるほどの素晴らしい仕上がりを見せていた。

### 表具職種

表具の競技には、東北から九州までの各都府県から12名の選手が参加していた。

この課題は、屏風の製作の模様だったが、仕上げ材料の裏打ちが行われた後は、下張り作業が丁寧に行われていた。一度かけた袋が乾くと、また、その上に袋張りをするなど、食い裂き、糊付け、霧吹き等々、実に手数の掛かる作業を黙々と、手際よくこなしていた。

### プラスチック系床仕上げ

プラスチック系床仕上げの競技には、関東、関西より12名の選手が参加し技を競っていた。

### カーペット系床仕上げ

カーペット系床仕上げの競技には、関東、関西より6名の選手が参加し、競技を行っていた。

壁装新聞(第420号)より引用